

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

第45回総会を開催

安全・安心の医療・介護
大運動を成功させよう



3月1日、東京社保協第45回総会をけんせつプラザ東京で開催し、21団体35地域145人が参加しました。

総会記念講演として、芝田英昭（立教大学教授）さんが、「社会保障改革の現段階と医療・介護戦略のゆくえ」と題して講演を行いました。

講演では、社会保障プログラム法以降の動きや、医療介護確保促進会議の果たす役割、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン案の問題点と介護保障改革の方向性、医療保険改革案の中身などについて、丁



講演中の芝田先生

（総会の模様は次ページ）

寧でわかりやすいお話しを行っていただきました。総会では、この1年間のたまたかの総括と「安全・安心の医療介護大運動を成功させ、医療・介護の大改善、社会保障解体攻撃をストップさせよう」をスローガンに活動方針、たたかう体制と予算を全体で確認しました。

そして、「憲法25条を活かし、安全・安心の医療・介護大運動を成功させよう」の総会アピールを全体で拍手で確認しました。

東日本介護保険運動交流集会



2月11日、東日本「介護保険運動交流集会」が神奈川県横浜市で開催され、全体で121人、東京からは18人が参加し、介護保険をめぐる情勢の学習や運動の交流を行いました。

講演では、林泰則さん（全日本民医連事務局次長）が「介護保険をめぐる情勢と今後の運動課題」と題して講演し、今開会中の通常国会へ「介護報酬引き上げ」の声を届けようと訴えました。

二つ目の講演は、日下部雅喜さん（大阪社保協介護対策委員）が「介護保険料引き上げ・要支援はずしにどう立ち向かうか」と題して講演を行いました。

交流では、今年4月から総合事業を開始する品川区の運動や、「介護をよくする会」として運動をすすめている横浜社保協の取り組みや「市民説明会」にむけた日野市・千葉県松戸市での取り組みなどが報告されました。

医療・介護の大改悪にストップを

6団体5地域が討論に参加

第45回総会は、竹崎会長が開会あいさつに立ち、「今の安倍暴走内閣の社会保障、医療・介護・福祉及び労働法制の大改悪と目の前に迫った一斉地方選挙を含め、たたかいに活力をもつて取り組みましょう。」とあいさつしました。

来賓のあいさつは、中央社保協の山口一秀事務局長、日本共産党の和泉尚美都議会議員から連帯と激励のあいさつをうけました。なお、関東甲

地域の社保協からメッセージが寄せられました。

寺川事務局長が、44期活動報告案と45期活動方針案を提案し、相川事務局次長が、介護保険緊急自治体アンケートの結果と今後の取り組みについて報告しました。

昼食休憩をはさみ、寺川事



報告する寺川事務局長

務局長が44期決算報告を行い、有馬会計監査から監査報告が行われ討論に入りました。討論では、冒頭に新加盟団体の「東京の保健・衛生・医療の充実を求める連絡会」氏家代表からあいさつがあり、年金者組合から「若い人も高齢者も安心できる年金制度を」署名、都生連から「都営住宅の新規建設と所得基準引き上げ」署名、の訴えが行われ、公害患者と家族の会から、3月までの気管支ぜんそくの認定申請と今後の制度づくりの訴えが行われました。

取り組み報告では、冒頭で訴えた4団体に加え、新婦人と障都連から報告があり、6団体が討論に参加しました。



新加盟を求め健康・衛生・医療の代表者のあいさつ

また、地域からは、西多摩、葛飾、清瀬、豊島、目黒の5地域7人から発言がありました。

続いて、寺川事務局長がまとめを行い、「討論は質問を含め14人の発言があり、いずれも活動総括と方針を深め議論を補強し豊かなものにする発言でした。」と討論をまとめ、第44期活動総括と第45期活動方針、決算・予算を採択し、第45期の役員の紹介を行いました。



あいさつする竹崎会長



議長を務めた吉野さんと内村さん

新役員を代表してあいさつに立った竹崎会長は、「東京社保協は、新たな加盟も含め34団体45地域の体制となりました。今、社保協が取り組まなければならない課題は、今年を含め向こう3年間が、介護保険制度「改正」や医療制度・国民健康保険制度「改正」に対する取り組みの正念場で



閉会あいさつする中村副会長

— いのち・暮らしまもれ —

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

東京集会

日時

3月29日（日）13時～16時45分

会場

全労連会館 2階ホール

(JR・地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅下車徒歩8分)

内容

「社会保障改革の現段階と
医療・介護戦略のゆくえ」

講師：芝田英昭立教大学教授



☆☆パネルディスカッション☆☆

- ①患者申出療養制度
- ②国民健康保険の都道府県単位化
- ③日の出町の窓口負担無料化の実践
- ④フロアからの発言 など



主催：安全・安心の医療・介護大運動東京集会実行委員会